

国際コンテナ戦略港湾選定基準

選定基準1（港の基礎評価）

規模及び背後圏の条件

【定量的評価】

1. 基幹航路及び東アジア航路の一定の貨物と航路集積があること
 - ① 目標年次（2015年）において、現状のスーパー中樞港湾と概ね同程度の貨物の集積が見込めること
 - ※貨物量は、経済変動による影響は考慮せず、背後圏変動のみを見込むことができる
 - ② 目標年次（2015年）において荷主に基幹航路の多頻度サービスを提供するため、基幹航路に係る一定のコンテナの集積が見込めること
 - ・最低基準 北米航路 ディリーサービスの提供（20万 TEU/年）
 - ※貨物量は、経済変動による影響は考慮せず、背後圏変動のみを見込むことができる
 - ③ トランクラインからの追加寄港時間（地理的条件）1日程度

【基礎条件評価】

2. 大規模岸壁が効率的に整備できる等物理的条件を具備していること
（広域的な貨物集荷のための面的強化）
 - ④ 内航航路；外内貿の一体運用が可能であること
 - ⑤ 高速道路；高速道路へのアクセスが整っていること
 - ⑥ 貨物鉄道；貨物鉄道へのアクセスが整っていること

（港湾空間の確保）

 - ⑦ 将来のコンテナ船の大型化に対応しうる、水深-18m 級、延長 1000m、奥行 500m 以上のターミナルが確保できること
対アジア貿易として、水深-12m 級で必要な規模のターミナルが確保できること
 - ⑧ ターミナル背後においてロジスティクス用地が確保できること
 - ⑨ コンテナ埠頭間の円滑な連絡が確保できること

選定基準2（目標、施策の優位性評価）

施策の目標・効果優位性の条件

1. 「基幹航路就航の維持・強化」と、「我が国の荷主に高水準のサービスを提供」するため、釜山港、シンガポール港に互するサービスの提供を目指したものであること
2. アジアにおけるコンテナ物流の動向や、提案港湾の地理的特性を踏まえ、目指すべき「位置づけ」が明確かつ妥当であること
3. 「コスト低減のための港湾強化策」や「貨物集荷のための面的強化策」など実現のための方策が具体的なものであること

（視点）

- 政策の実施により、当該港湾への集荷力を一層高めることが期待できること
- 政策の実施により、コンテナターミナル等の運営が一層効率化される具体的な条件が整う見込みがあること
- 政策の実施により、市場原理による外航コンテナ船社の寄港地選択行動の結果、欧米基幹航路及びアジア航路の安定又は拡大が期待できること
- その他、上記以外の政策目標を独自の戦略で実現できることが期待できること

（実現のための方策）

方 策	優位性 (相対比較)	実現性
基幹航路維持・強化のためのコスト低減		
○ターミナルコストの低減		
○ロジスティクス用地の低廉化		
○コンテナ船の大型化に対応した大規模コンテナターミナルの形成		
○我が国への追加寄港時間の短縮その他		
基幹航路維持・強化のための広域からの貨物集約		
○内航フィーダーの強化		
○鉄道フィーダーの強化		
○トラックフィーダーの強化		
その他荷主へのサービス向上		
○総物流コストの低減		
○24時間化の推進(ロードマップ)		
○情報化の推進		
環境、セキュリティ対策		
○セキュリティ水準の高い効率的な国際物流の実現		
○環境への配慮		

戦略的な港湾経営の実現(施策)		
○広域的取り組み		
・港湾内のコンテナターミナル再編		
・広域連携の推進		
○戦略的なポートセールスの実施		
○「民」の視点からの効率的な港湾経営		

4. 以上の施策を実現させるための体制が具体的なものであること
(実現のための体制)

体 制	優位性 (相対比較)	実現性
「民」の視点からの積極的な経営が可能であること		
コンテナ港湾を一元的に経営することが可能であること		
そのための体制整備が具体的であること		

5. 必要な予算 (最小の予算で、最大の効果を発揮しうる港)

その他：確認事項

【産業立地面の視点】

1. 港湾機能の強化による、背後圏への産業の立地、集積等地域経済等に対する効果
 - ① 背後圏が広域で国際市場を相手にする企業がある程度集積し、政策の効果がさらなる企業集積を促す効果に配慮すること

【環境面の視点】

2. 環境 (CO2) に与える影響
 - ② 環境 (CO2) に与える影響に配慮すること

【大規模災害対応の視点】

3. 大規模災害時の対応
 - ③ 大規模災害時の対応

【中長期的視点】

4. 経済圏・人口規模の趨勢
 - ④ 直背後圏 (当該県及び隣接県) の貨物量～背後経済圏・人口の趨勢

選定基準2（目標・施策の優位性評価）の評価シート

(〇〇港)

評価項目	評価内容 別配点	評価項目 別配点	優位性		実現性			評価 (A～C)	点数 (優位性× 実現性)
			配点の範囲内で採点		A	B	C		
					1.0	0.5	0.1		
			コメント	評価(点数)	コメント				
目標・ 位置づ け	基幹航路の維持・強化等のた め、釜山港、シンガポール港 に伍するサービスの提供を目 指したものであること	350	350						
	アジアにおけるコンテナ物流 の動向や、提案内容の地理的 特性を踏まえ、目指すべき「位 置づけ」が明確であること								
実現の ための 方策	基幹航路維持・強化のための コスト低減	500	150						
	基幹航路維持・強化のための 広域からの貨物集約		150						
	その他荷主へのサービス向上		50						
	環境、セキュリティ		50						
	戦略的な港湾経営の実現 (施策)		100						
実現の ための 体制	民の視点からの積極的な経営 が可能であること	150	150						
	コンテナ港湾を一元的に経営 することが可能であること								
	そのための体制整備が具体的 であること								
合計		1,000		—	—	—	—		